

# 平成24年度 事務事業評価\_事務事業調書 (評価対象事業)

事業名	防災資機材備蓄管理事業	事業コード	1271
-----	-------------	-------	------

総合計画体系	基本施策体系	基本目標	属性	基本施策	実施施策	
	重点施策体系	重点施策	分類(大)	分類(小)		
		安全・安心で快適に暮らせるまちづくり	防災	地域の防災力を強化する	防災体制の整備	3011
		「人の増えるまち」づくり	安心して生み育てられる子育て環境の充実	安全安心		811

PLAN(計画)	部署名	防災危機管理課		開始年度	0	終了年度	9999
	目的	災害発生に備えるため、災害時に必要となる資機材の整備と維持管理、避難所等で使用する毛布等の備蓄を計画的に行う。					
	概要	①携帯電話や防災無線等資機材の整備と維持管理、②市内10地区の防災資機材倉庫および水防倉庫の維持管理、③防災資機材の計画的な備蓄					
	法令根拠	災害対策基本法、水防法、土砂災害防止法					
	実施形態	現在	市直営				
	内容	災害時に必要となる資機材の整備と維持管理および避難所等で使用する備蓄品の整備。					

DO(実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)
	避難所用の毛布、非常食等の備蓄点検		回	目標値	1	1	1	1	1
				実績値	1	1			
	整備済の防災資機材等の点検・維持管理		回	目標値	1	1	1	1	1
				実績値	1	1			
	成果指標								
	指標名		単位	年度	H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)
	非常食の充足率		%	目標値	100	100	100	100	100
				実績値	92.3	106			
計算根拠	避難所用非常食の備蓄数【H21県基準量：9677食】		達成率(%)	92.3	106				
			ランク	C	A				
			実数値	8671/9677	10260/9677				
避難所用毛布の充足率		%	目標値	100	100	100	100	100	
			実績値	65.2	99				
計算根拠	避難所用毛布の備蓄数【H21県基準量：3253枚】		達成率(%)	65.2	99				
			ランク	C	A				
			実数値	2122/3253	3222/3253				

事業費／千円	区分	H23(2011)	H24(2012)	事業要員	正規職員	0.1	タイプ	会計	一般会計
	予算額	3,470	6,399		臨時・嘱託			事業タイプ	単独事業
	決算額	3,180			※所要時間			経費区分	物件費
	繰越額	0	0						

# 平成24年度 事務事業評価\_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK(評価)	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="checkbox"/> あり	根拠	全国で多くの災害が発生しており、防災について市民の関心は非常に高くなり、市民ニーズは十分ある。(H16年：福井豪雨、台風、新潟中越地震 H18年：豪雨 H19年：能登沖地震、中越沖地震 H20年：岩手・宮城内陸地震、豪雨 平成21年：中国・九州北部豪雨、台風(9号、18号)、静岡沖地震)
	【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="checkbox"/> はい	根拠	災害対策基本法第5条の規定により、市が整備した資機材等は市が管理すべきである。
	【競合】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="checkbox"/> ない	主体 事業名	【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="checkbox"/> 不可能
	【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="checkbox"/> ない	所管課 事業名	【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。 <input type="checkbox"/> 不可能
	【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="checkbox"/> ない	根拠	最低限の整備済みの防災資機材等の点検維持管理費用である。また、緊急時に備え福井県の設定する備蓄数量に達していない。(H19年度に県備蓄計画改訂)
	【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法はありますか。 <input type="checkbox"/> なし	根拠	国・県等からの補助金制度もなく、受益者負担金を徴すべき事業ではないため。
	【成果向上】 今以上に、成果を向上させる 余地はありますか。 <input type="checkbox"/> ない	根拠	現在、非常食はクラッカーのみであるが、災害時要援護者対策に、柔らかい食品やレトルト食品等を備蓄することは必要である。また、毛布は県の備蓄計画数に達していない。(H19年度は、中越沖地震の救援物資として毛布および食糧を送付したため、県の備蓄計画数量を大きく下回った。H20年度でクラッカーおよび毛布を購入したが、財政難により、毛布は依然計画数量を下回っている。)

ACTION	【平成24年度 方向性】 <input type="checkbox"/> 維持	【平成25年度 方向性】 <input checked="" type="checkbox"/> 維持
	平成24年度取組み 災害時に必要とする資機材の整備と維持管理葉避難所で使用する食品および毛布等については、県の備蓄計画に沿って計画的に行う。	平成25年度計画 災害時に必要とする資機材の整備と維持管理葉避難所で使用する食品および毛布等については、県の備蓄計画に沿って計画的に行う。

【H25提案型市民主役オープン事業実施】 <input type="checkbox"/> 可能						〈不可能選択理由〉  <input type="text"/>
年度	H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)	
取組選択	-	不可能	可能	可能		
実施状況	-	未実施	未実施			